

第174回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

『^{まなこ}眼をひらく ^{こころ}心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2018年12月20日（木）午後2時～4時

講 師 藤本 愛吉（ふじもと あいきち）氏

講 題 仏縁

講師紹介 1947（昭和22）年生まれ
1984（昭和59）年 大谷専修学院本科卒業
2018（平成18）年 現在、三重県正寶寺住職

先生からのメッセージ

「幸いに有縁の知識に依らずは、いかでか易行の一門に入ることを得んや」（『歎異抄』）

「自我の殻を抜け出して 縁あって 人に出会い 仏に出会う」（読み人不明）
よくぞ生きた念仏者の人々に遇えたものだなあ。

よくぞその人々を通して 仏の教え（法、願い）に会えたなあ。

よくぞ教え（法、願い）が言葉となって公開されていたものだなあ。

聴聞の場があるというのは、大変なことだったのだなあ。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。TEL058-265-0033

MEMO

次回 第175回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年1月20日(日) 午後2時～4時

講 師 狐野 秀存(この しゅうぞん)氏 (大谷専修学院長)

講 題 また会いましょう

講師紹介 1948年石川県金沢市生まれ。日本大学中退。大谷専修学院卒業。現学院長。

メッセージ

「われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか」。フランスの画家、ゴーガンの絵の題です。だれも皆のこころの底にあるこの問いに、ある先生はひと言で答えられました。「また会いましょう」と。

「南無阿弥陀仏」の中で、われもひとと共に、必ずまた会うことのできる人生に目覚めるのが浄土真宗です。